

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

|  |   |
|--|---|
| (整理番号)<br>061  | 提案機関名<br>畜産課  |
| <b>要望問題名</b><br>受胎率向上のための豚精液性状の改善技術実証の検討   |   |
| <b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】<br>県内養豚生産者において、人工授精技術を利用する生産者が増えてきているが、受胎率向上のためにも豚精液性状の改善は必要な技術の一つと考えられる。研究段階では、給与飼料又は希釈液への各種資材添加により造精能力や精子活性が向上するとの報告があるが、現場で実証されているものはまだ少ない。<br>そこで、豚精液性状の改善に使われる各種資材を調査し、現場で利用可能な技術を確立していただきたい。 |   |
| <b>解決希望年限</b>  | ①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内            |
| <b>対応を希望する研究機関名</b>  | ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター      ③水産技術センター      ④自然環境保全センター |
| <b>備考</b>  |   |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

|   |   |             |            |
|---|---|-------------|------------|
| <b>回答機関名</b>  | 畜産技術センター  | <b>担当部所</b> | 企画指導部企画研究課 |
| <b>対応区分</b>   | ①実施   ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討   ④実施済   ⑤調査指導対応   ⑥現地対応   ⑦実施不可 |             |            |
| <b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)   |   |             |            |
| <b>対応の内容等</b><br>豚の繁殖技術において、人工授精は一般的な技術であります。精液性状の改善は、産子数の増加につながることから生産性向上を図るうえで重要な要因です。精液性状の改善を狙った市販飼料や種々の希釈液が販売されていますが、精液性状の維持に効果があるとされる市販混合飼料について、情報収集するとともに、試験実施に向けた検討を行っているところです。今後、現場で利用可能な技術として知見が得られたものにつきましては、情報提供に努めてまいります。 |   |             |            |
| <b>解決予定年限</b>   | ①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内   |             |            |
| <b>備考</b>   |   |             |            |